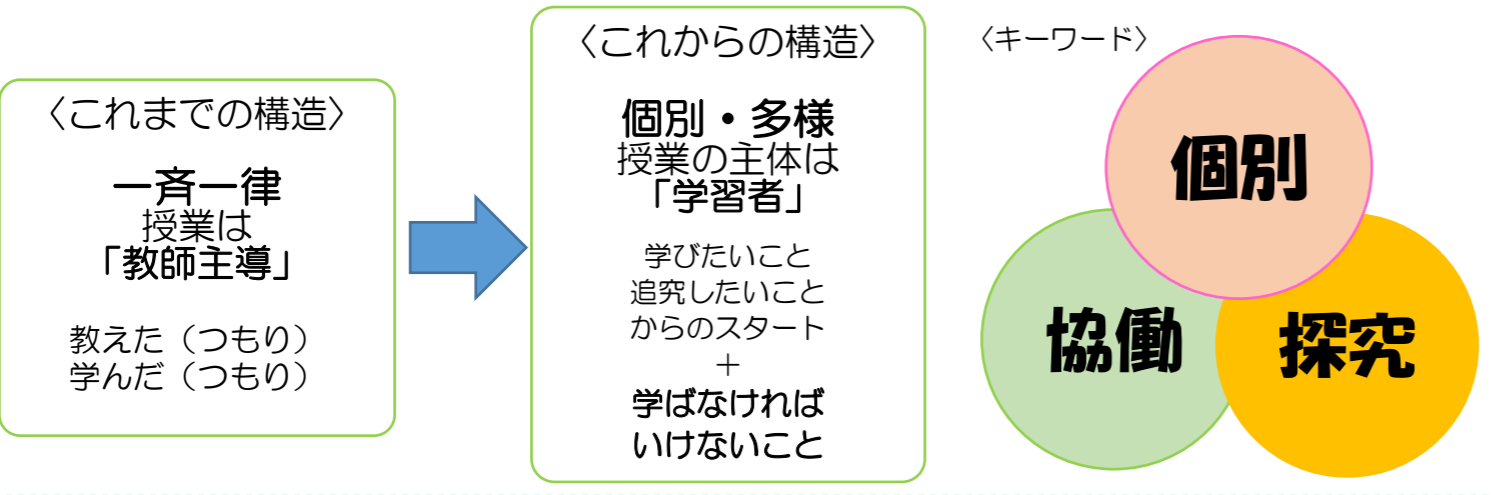


「学びの構造転換」の実現に向けて



ここを見れば、学習のポイントが分かる！

ひろげよう
まどめよう
ふかめよう
とらえよう

光村図書5年「たすねびと」
「学びの手引き」より

最後の場面について、考えたことを友達と話そう。
「お兄ちゃんもせかさなかつた。」（118ページ6行目）のは
なぜだろうか。
「きれいな川」や「ただの名前」（118ページ7〜8行目）は、
「綾」にとってどんなもの変わったのだろうか。
「綾」がたすねた場所や出会った人は、それぞれ、「綾」
に何を伝える役わりをしていただろうか。

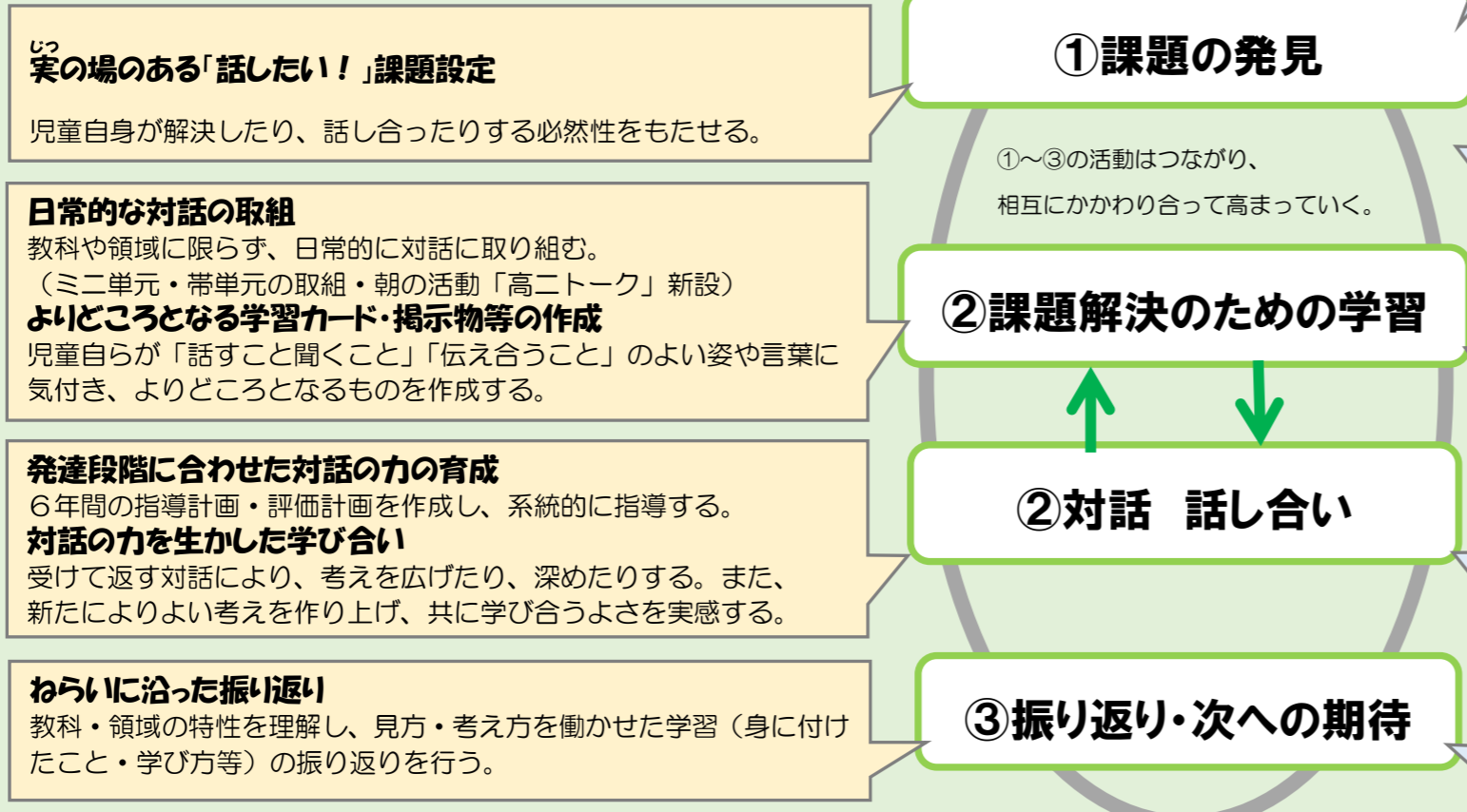
この物語を読むことで、あなたの気持ちや考えに、どの
ような変化があっただろうか。感じたことや考えたことを
ノートにまどめよう。

「たすねびと」を読んで感じたことや考えたことを、伝
え合おう。友達は、この物語に、どんな気づきや考えを
もったのだろうか。

令和2年度の取組(国語 全領域)

〈学習の流れ 高ニスタイル〉

平成31年・令和元年度の取組(国語 話す聞く)



課題設定を「個別」にする
「初発の感想・交流から、自分で考えたいことを発見しよう！」
物語文→登場人物の心情の変化 情景描写 表現など。
説明文→文章構成 筆者の考え 論の進め方など。
※教科書の「学びの手引き」を参考にする。

読みの土台を作る
「単元でこれは最低限分かっておくべき！」は、
先に押さえてスタート＝全体の理解のベースを同じにする。
※教科書の「手引き」の「とらえよう」を参考にする。
教師は、指導目標をもとに、押さえるところを把握。

指導事項を学ぶ時間＝「ポイントレッスン」
学習計画の中で、「個別の探究」と「課題解決のための学習」の時間を
設定する。個別の課題の探究が、全体の読みに生きる。
※教科書の「手引き」の「ふかめよう」を参考にする

個々が深まるための協働
「友達に考えを聞いてみよう。誰に聞いたら考えが深まるかな？」
協働をする交流の時間は、教師が意図的に組み合わせたり、交流の目的を
明確にしたりすることが大切。児童は、内容によって相手を求めて対話する。
全体交流では、個別の探究が全体の課題につながり、読みが深まる。

自分自身を客観視し、学び方の振り返りと学習内容の振り返りをする
「どんな学び方で、何が身に付いたかな？」
例) 振り返りでは、ワークシートに「学び方」と「学習内容」の両方を書
けるようにする。

- 5年 物語文「たすねびと」
〈単元計画例〉
- 0次
・音読
・意味調べの宿題
- 1次
・学習計画づくり
・読みの土台づくり
- とらえよう を参考に
・個人課題設定
- 2次
・探究に浸る
・個人課題の読みを生かし指導事項をおさえる
・ポイントレッスン
- ふかめよう を参考に
交流の時間
- 3次
・考えを形成する
(感想文など)
学習の振り返り

〈研究を支える3つのマインド〉

Open のマインド

授業の「ちよいと見」
誰でも、どんな時でも授業を見ることが出来ます。45分全て見る必要もありません。必要なことは、学ぶ姿勢と授業者へのリスペクト。



Share のマインド

みんなで共有する自主研修
校内で自主研修を行うことで、各教科の授業のポイントだけでなく、個人の疑問や分からないことも共有することができ、教師のチーム力の向上に繋がっています。



Advance のマインド

リスペクトのある熱い協議会
協議会では、一人ひとりの小さな疑問も遠慮なく発信できる雰囲気の中で、お互いの意見を尊重し合いながら、活発な話し合いを行っています。



